

平成27年度第4回刈谷市総合教育会議 議事録

- 1 日 時
平成28年1月22日（金）午後1時～午後1時50分
- 2 場 所
刈谷市役所 701会議室
- 3 議 題
(1) パブリックコメントの結果について
(2) 刈谷市教育大綱最終案について
- 4 出 席 者
市 長 竹中 良則
教育委員会 委 員 長 池田 裕幸
教育委員会 委員長職務代理者 日下 ゆかり
教育委員会 委 員 神谷 修
教育委員会 委 員 畠 留美
教育委員会 委員（教育長） 太田 武司
- 5 欠 席 者
なし
- 6 会議構成員以外の出席者及び事務局
企 画 財 政 部 長 稲垣 武
教 育 部 長 間瀬 一芳
経営企画監兼企画政策課長 西村 日出幸
教 育 総 務 課 長 村口 文希
学 校 教 育 課 長 神谷 拓生
教育総務課 課長補佐兼施設係長 塚本 吉郎
学校教育課 課長補佐兼学事・保健係長 加藤 重行
企画政策課 経 営 管 理 係 長 山口 繁
教育総務課 総 務 係 長 神谷 友理
企画政策課 主 事 （ 書 記 ） 竹内 志穂
- 7 傍 聴 人
なし

(企画財政部長)

定刻になりましたので、只今から第4回刈谷市総合教育会議を開会させていただきます。
会議に先立ちまして、竹中市長よりごあいさつを申し上げます。

(市長)

皆様、こんにちは。市長の竹中でございます。

本日はご多忙の中、第4回の総合教育会議にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。
もう1月も22日ということで時が過ぎるのは早いものであります。昨日は大寒でありましたが、毎年大寒の日に、徳川家康公が大きな戦の前に必ず参拝したと言われる岡崎の伊賀八幡宮で、弓矢を放ち的が割れた数でその年の農作物の出来などを占う「武者的神事(むしゃまとしんじ)」が行われておりまして、今回は、「米の出来は上」、「天候や商業は中」になるだろうという結果が出たようであります。さて今年はどのような年となるのでしょうか。

また、先日、1月14日には、NHK総合テレビで、年の始めに和歌を披露しあう「歌会始(うたかいはじめ)」が放送されました。その会の中で、陛下の前で進行を行う読師(どくじ)という役があるのですが、この役目を、水野家の分家にあたる山形水野の第16代当主水野忠俊公が務められていました。水野忠俊公といいますと、平成25年に本市で刈谷城築城480年記念事業を展開しましたが、全国におられる水野家の分家の方々にお集まりいただく機会がございまして、その際に忠俊公もこの刈谷の地にお越しいただいております。刈谷に縁のある方がこのような大変重要な役を務められているというのは心誇らしい思いでございました。

さて、本市では1月10日に成人式が行われました。刈谷に育った子ども達が立派に成人を迎えられたことを大変嬉しく思いますとともに、この未来を担う成人の方々が刈谷に期待が持てるようになっていかなければならないという責任も改めて感じたところでございます。現在この総合教育会議では、教育大綱を策定しているところでございますが、子ども達が自分の行動や意見に自信を持ちながら主体的に活動し、あるいは他人の意見にも十分耳を傾け、他人に思いをよせることができる、そういった大人になってほしいと願っております。また、そういう子ども達を育てていくことが我々大人の使命であるとも思っております。

本日もこの教育大綱についての議題が主になるかと思いますが、皆様の忌憚なきご意見をいただきながら、より刈谷の子ども達の現状に即した大綱を策定してまいりたいと思いますので、ご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いします。

(企画財政部長)

ありがとうございました。それでは、議題に入らせていただく前に、本日の会議資料を確認させていただきます。

資料は、事前にお渡しさせていただいておりますが、本日ご持参いただいていない場合は、用意いたしますのでお申し付けください。

最初に、本日の次第、次に当会議の名簿、続いて、

資料１：パブリックコメントの結果について（Ａ４ １枚）

資料２：刈谷市教育大綱最終案（Ａ４ ホチキスどめ１冊）

資料３：平成２８年度刈谷市総合教育会議開催予定一覧表（案）（Ａ４ １枚）

そして、本日、机の上に配付させていただきました座席表でございます。資料の不足がございましたら、お申し付けください。

続きまして、本日の出席者につきましては、お手元の座席表をもって代えさせていただきます。

それでは、次第に従いまして議題に入らせていただきますが、これより議事の進行は竹中市長にお願いしたいと思います。

（市長）

それでは、前回に引き続き、私の方で議事を進行させていただきたいと思います。皆様のご協力を得まして、円滑に進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議題（１）の「パブリックコメントの結果について」でございます。事務局、説明をお願いします。

（教育総務課長）

議題（１）「パブリックコメントの結果について」と議題（２）「刈谷市教育大綱最終案について」は関連がございますので、合わせて説明させていただきます。

資料１「パブリックコメントの結果について」をご覧ください。「１実施状況」（１）募集期間は、平成２７年１２月１７日～平成２８年１月１５日のほぼ一月、意見としましては９件いただいております。具体的な内容ですが、「２意見の概要と市の考え方」に記載の表と、別冊資料２教育大綱案も合わせまして、説明させていただきます。大綱を１枚めくっていただきますと、１ページ「はじめに」と「教育大綱の基本的な考え方」のところでそれぞれ網掛けをしてある個所が１カ所ずつございますが、このように、前回から変わったところを網掛けにしておりますのでそのあたりを中心に説明させていただきます。

まず、資料１の表のＮｏ．１についてです。大綱は２ページをご覧ください。「知」「徳」「体」に続く４つ目のキーワードを「環」としてありますが、その「環」の位置付けがわかりづらいというご意見をいただいております。大綱のイメージ図をご覧ください。前回から図全体を変えておりますが、「環」を、「わ」あるいは「サークル」と位置付け、「知」「徳」「体」を結びつけるものとして、環境整備などの視点も含め全体を捉えたものとしております。

続きまして、Ｎｏ．２ですが、大綱は同じく２ページとなっております。中ほど「健やかな体」のところに網掛けをしておりますが、前回の記載は、「健やかな健康」という表現となっております。「健やか」と「健康」で意味が重複するように感じるとのご指摘をいただきましたので、「健やかな体」と修正しております。

続きまして、Ｎｏ．３、大綱は３から７ページで、「知」「徳」「体」「環」それぞれ４つの柱のまとめとして各ページの１番下に黒板のイラストを示しておりますが、その中の記載の

仕方について、文章が長々と書かれており、少し読みにくいというご意見でございました。この部分につきましては、今ご覧いただいているように、箇条書きで要件をまとめる形で整理をしております。記載内容の主旨は変えておりません。

それから、No. 4、大綱は3ページになります。「教科指導の充実」について、「考え方・ものの見方」となっていたものを、言葉のつながりや順番を踏まえ、「ものの見方・考え方」と修正をしております。

No. 5、大綱は4ページになります。1つ目の項目は、「命の大切さや思いやる心の育成」という表現でしたが、命の大切さは育成するものではないというご意見をいただきまして、「命を大切に作る心や思いやる心の育成」と修正しております。

それから、No. 6、大綱は5ページになります。食育の指導を行う者として、栄養教諭しか記載がなかったものですから、食育指導は栄養教諭のみが行うのですかというようなご指摘をいただきましたので、学校栄養職員を追加しております。

No. 7、大綱の全体に関するのですが、大綱の中に子どもの視点での内容があってもよいのではというご意見をいただきました。これに対しまして、記載としては行政、教育委員会、教員という視点でまとめておりますが、内容的には子どもの視点でも捉えているという考えでありますので、表記は変えずに現状のままとしております。

No. 8、大綱は6ページになります。大綱の中に、教師の生活、地位も保障した内容を組み入れてはどうかというご意見をいただきましたので、2つ目の項目の「学習しやすい環境の確保」の網掛けの部分を書き換えて追加しました。「心身両面にわたり教職員の健康管理を徹底し、教育活動に専念できる適切な環境を維持することで、学校教育全体の質の向上を図ります。」という文章を付け加えております。

最後に、No. 9も全体に関するのですが、超長期的な計画の目的を掲げてはどうかというご意見をいただきました。こちらにつきましては、大綱2ページ「育てたい子ども像」に将来的な部分も含めて記載していることから、特に対応はしないという考えを示しております。以上がパブリックコメントで提出された意見とそれに対する市の考え方でございます。

そして、冒頭で、前回から変更した部分を網掛けにしてありますと申しました。パブリックコメント以外にも一部語句訂正をした箇所につきましては、説明を省かせていただきます。

教育大綱の策定ということで、この総合教育会議におきまして第2回から第4回にかけて議論を重ねてきましたが、今回の修正を加えて最終的な形としたいと考えております。今後についてですが、議会報告の後、ホームページや4月1日号の市民だよりで公表していく予定でございます。4月以降、具体的には大綱3から6ページにまとめられている4つの柱に位置付けられた各項目の実現のために、7ページのA3の一覧表に、具体的な取り組み内容が掲げられておりまして、これらは一年ごとに加除されることになるとは思いますが、こちらの表の内容ごとに、行政、教育委員会あるいは教員などが、それぞれ役割分担を整理して取り組んでいきたいと考えております。特に中心となる教員つまり学校現場サイドにつきましては、4月の校長会で教育大綱を全小中学校に周知し、大綱が目指す理想の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

議題（１）「パブリックコメントの結果について」及び議題（２）「刈谷市教育大綱最終案

について」の説明は以上となります。

(市長)

では、事務局からの説明内容についてなど、ご意見、ご質問はございませんか。

(神谷委員)

パブリックコメントについて確認をしたいのですが、9件の内訳として、一人の人から何件ずつの意見が出されたのですか。また、この意見に対する市の考え方というのは、もう公表されたものなののでしょうか。

(教育総務課長)

2名の方から計9件いただきました。N o. 1～6の6件を出された方が一人、N o. 7～9の3件を出された方が一人です。一人は持参で、もう一人はメールにより提出されました。

市の考え方につきましては、この場でご意見をいただき、それを受けて最終的なものを公表してまいりたいと思っております。

(神谷委員)

わかりました。大綱全体としては、きちんとまとまっていて、改めて非常によいものになっていると思っているところです。

(市長)

資料1、N o. 2の市の考え方に「「健やかな健康」を「健やかな体」と表現を修正します」となっていますが、「健やかな身体」というように、2文字の「身体」としてもいいかもしれません。健やかな「体」づくりとした場合、健康な体をつくるということになり、また、健やかな「身体」とした場合は、心身共にという意味となり、ふさわしいように思います。

(太田教育長)

「健やかな体」についてですが、1文字の「体」とすると「パワー」や「体力」という意味合いが強くなってしまいますし、文章の流れから考えて2文字の「身体」の方がよいかと思えます。

(市長)

そうですね、難しいところです。

(畠委員)

資料1「パブリックコメントの結果について」の市の考え方N o. 8に教師についてのご意見があり、それを受けて大綱6ページ「環」に表記を追加されていまして、これは非常に

よいことだと思います。さらに言えば、大綱7ページのA3の表の中にも、教師についての内容を入れた方がよいかと思います。

(市長)

確かにそうですね。

(教育総務課長)

わかりました。具体的に記載します。

(池田委員)

大綱2ページの「知」「徳」「体」「生きる力の環」という図と、最終ページのヒマワリの「知」「徳」「体」「環」という図は、似ているのですが、「環」の表現が若干違います。2ページは「サークル」となっていますが、最終ページはそれが読み取れないように思います。この2つの図はほぼ同じことを表したいのだと思いますので、もう少し揃えられるといいかなと思います。

もう一点、確認なのですが、大綱2ページの「育てたい子ども像」の横棒の下に「●基礎的な知識・技能を習得し、・・・」とあり、その左上に小さく「1」とありますが、これはなにか意味があるのでしょうか。

(教育総務課長)

まず、「1」の表記ですが、これは「育てたい子ども像」の1行目の「生きる力」の右上の「1」と対応しておりまして、「生きる力」という言葉の解説がこの部分だということを示す注釈番号です。しかし、それはこのページのみで注釈でして、最終ページのヒマワリの図の下にも全体の「用語解説」があり、わかりにくいかもしれません。表現方法を再検討します。

また、大綱2ページと最終ページの「知」「徳」「体」「環」の図についてですが、「環」の表現方法を非常に悩みまして、最終ページのヒマワリでは「知」「徳」「体」を結ぶものとして茎にはめてみましたが、ご指摘のとおり「サークル」とは読み取れないかもしれません。

(市長)

そうですね、もう少し揃えられるよう工夫できるといいですね。両方とも、「サークル」をうまく表現できないでしょうか。

(神谷委員)

2ページの図はとてもよいですね。ただ、「生きる力」の環」となっていますが、「環」とだけにした方がシンプルでよりわかりやすいような気がします。

(経営企画監兼企画政策課長)

2ページと最終ページの図を揃えられるよう、それぞれを修正いたします。

(市長)

細かいところになりますが、7ページのA3の表中の「環」にある「私立高等学校授業料補助、私立幼稚園保育料補助」や「スクールガードリーダー、スクールガード」ですが、名詞で改行もされているので、間の「、(句読点)」は必要ないと思います。

(教育総務課長)

「、(句読点)」は取り除きます。

(日下委員)

5ページの学校栄養職員と栄養教諭について、あまり馴染みがないもので、もう少し詳しくお聞きしたいです。

(学校教育課長)

はい。食育の重要性の高まりを受けまして、平成17年に、従来の「学校栄養職員」の職務に栄養に関する教育を加えた「栄養教諭」という職ができました。学校栄養職員は栄養士または管理栄養士の資格があればよかったのですが、栄養教諭は、加えて、大学等で教育職員免許法に定める単位を修得し、栄養教諭の免許状を取得することが必要となります。

(太田教育長)

栄養学校職員ですと、教諭の免許を持つ方、例えば養護職員や普通の学級担当教諭、などと一緒にないと授業ができないという面がありますが、一方、栄養教諭であれば、教諭の免許を持っておりますので、単独で食に関する授業立案ができるということになります。

(市長)

現在、市の栄養教諭はどのような状況なのでしょうか。

(学校教育課長)

学校教諭は現在市内には1名います。かつて栄養士といわれた職の方が5名おりまして、その内1名が栄養教諭の免許を取得しています。そして、この5名は給食センターに勤務しており、そこから食育等の指導に出て行くという形となっています。

(太田教育長)

文部科学省は、学校栄養職員を順次栄養教諭に切り替えていきたいとしていますが、現在はその過渡期ですので、両者が混在しているため大綱に記載する際には注意が必要です。

(市長)

表記が難しいですね。

(教育総務課長)

これは一つの考え方ですが、その二つの職を並べて書くことによって、一般の方にとってわかりにくくなるということであれば、あえて表記せずに、例えば「食育推進プロジェクトを通じ、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう指導します。」としてはどうでしょうか。

(池田委員)

日下委員も仰いましたが、あまり馴染みのない言葉ですし、当事者にしかわからない表現は避けたほうがいいと思います。

(教育総務課長)

ご指摘のとおり、表記方法を検討してみます。

(日下委員)

資料1、No. 8のご意見を受けて、大綱6ページの「環」の「学習しやすい環境の確保」に、「心身両面にわたり教職員の健康管理を徹底し、・・・」と追記されていますが、教育の中において、先生方の存在は非常に意味を持つものであり度外視せずに大綱の中でもうたっていくというのは非常によいと思います。私自身も、教育委員を何年か務めさせていただいている中で、学校訪問した際などに、先生方の大変さですとか心身の健康の大切さを身に染みて感じるものがありまして、パブリックコメントを実施し、このような意見が出てくるのは喜ばしいことだと思います。No. 8の意見を出された方は先生なのでしょうか。

(経営企画監兼企画政策課長)

職業等までは把握しておりません。

(日下委員)

そうですか、大変素晴らしい意見だと思いましたもので。先生方のことを忘れがちと言っ
てはなんですが、子ども達の事がもちろんメインなのですが、それには先生方の心身共の健康、そして充実した教育指導が大切だと思います。大綱の中に、このように市民にも分かりやすい言葉で載せることは非常に意味がありますね。

(市長)

そうですね、他市の大綱にもあまりないのではないのでしょうか。

では、他にご質問等ございましたらお願いします。ないようですので、最後に、「3 その他」について、事務局、説明を願います。

(経営企画監兼企画政策課長)

では、資料3をご覧ください。平成28年度の開催予定につきましては、5月、10月、2月の3回、それぞれ定例の教育委員会の前に開催する予定です。ただ、テーマによっては、回数を変更させていただくかもしれません。また、本年度は、教育大綱の策定を主なテーマに進めてまいりましたが、この総合教育会議の中で協議すべきテーマなどがございましたら、随時ご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。以上でございます。

(市長)

それでは、全体を通して、ご質問等ございましたら、お願いします。

ないようですので、以上をもちまして、本日の会議は終了となりますが、今回が本年度予定していた会議としては最終ということもありますので、ここで私から一言お礼を述べさせていただきます。

本年度は、刈谷市総合教育会議を設けました初年度でありまして、教育大綱の策定に向けて議論を重ねてまいりましたが、本日の会議内容を踏まえまして刈谷市教育大綱の策定したいと思います。

この一年、皆様が積極的に向きあってくださり、様々な思いや忌憚のない意見を聞かせていただくことができて、大変意義のある会議となったと思っております。改めて、皆様に感謝申し上げます。引き続き、来年度以降も、皆様のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。